

令和6年度 第2回ひのみね支援学校学校運営協議会 議事録

1 日時 令和6年11月15日(金) 14:00~15:40

2 場所 ひのみね支援学校 図書室他

3 会議

(1) 学校長挨拶

(2) グループ協議：「地域と協働できる体制づくりにおける」（参加委員10名）

・学校長からSWOT分析したひのみね支援学校の強みと弱みについて説明後、2グループに分かれ協議を行った。

- ・協議①「教育活動について」
- ・協議②「防災について」

(3) グループ協議の内容の報告

協議①「教育活動について」

- ・大学の部活動等とコラボレーションし、画像生成AIで創作活動やVR体験、プロジェクトマップ等のリソースを活用することもできる。
- ・オンラインで繋がるなど活動に広がりを持たせ、遠方の学校や施設等と連携し、活動の幅を広げると良いのではないか。
- ・ホームページでの発信だけでは弱いので、SNSを活用して情報発信をしてはどうか。その際情報リテラシーについての学びを深めておくことも大切である。
- ・いろいろな活動や児童生徒の作品の活用については、起業家とつながることも一案。
- ・パン作り体験について提案させていただけるよう準備中である。
- ・感染症対策のため、現在は外部公開はできていないが、開かれた学校づくりのためには学校活動の公開を推進していく方策を検討し、学校のことを知ってもらうのが良いのでは。

協議②「防災について」

- ・災害時の蓄電池や発電機の使用時間や医療機器の使用電力について確認しておく必要がある。
- ・児童・生徒の居住地の地域と情報共有し、個別避難計画の作成について連携を。
- ・実際に停電させるなどの訓練や、緊急時に使用するものを普段使用するなど慣れておくことも必要である。
- ・情報収集する手段の確保として四国電力送配電のアプリケーションや無線電話、SNS、LINEWORKSなどが便利である。
- ・学校で被災した場合、保護者に引き渡すまでかなりの時間を要することが懸念される。医療機関と協定を結んでおくなどの必要性もあるのでは。
- ・吸引器は、乾電池で動くものもある。買い換えの際の情報提供をすればどうか。
- ・ブラックアウト時等の通路の安全確保について検証しておく必要がある。
- ・ソーラーランタンは有効である。
- ・学校規模で言えば、屋上に大型のソーラー蓄電の設備が必要なのでは。
- ・避難所となった際を想定した訓練も必要。

(4) その他（事務連絡）

① イベント紹介

- ・みはらしの丘あいさい広場：令和6年11月16日~17日（防災フェア等）
- ・第3回バリフリBOX∞：令和7年1月11日~12日（BOSAI&GENSAI）ふれあい健康館
- ・ひのみねからの発信：令和6年12月2日~令和7年1月31日（ひのみね支援学校作品展）
小松島やまなみ珈琲

② 第3回の予定：令和7年3月11日（火）14:00~15:30